

平成26年7月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.23Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,018	8,520	4,282	4,238	5	2
2 千 石	3,385	6,685	3,363	3,322	△ 4	△ 10
3 内 山	4,929	7,168	3,863	3,305	1	△ 1
4 大 和	3,167	6,471	3,237	3,234	△ 1	△ 14
5 上 野	7,236	15,495	7,595	7,900	11	10
6 高 見	6,703	12,954	6,216	6,738	15	6
7 春 岡	6,406	10,491	5,613	4,878	20	31
8 田 代	11,257	21,455	10,262	11,193	25	29
9 東 山	9,695	18,993	9,263	9,730	10	24
10 見 付	4,321	8,328	4,169	4,159	0	△ 19
11 星ヶ丘	3,336	6,581	2,960	3,621	12	19
12 自由ヶ丘	3,477	7,661	3,507	4,154	1	6
13 富士見台	6,356	15,574	7,207	8,367	2	△ 12
14 宮 根	3,700	8,412	3,975	4,437	3	5
15 千代田橋	3,579	8,671	4,044	4,627	3	5
千 種 区 計	82,565	163,459	79,556	83,903	103	81
H25. 7. 1	81,872	162,744	79,171	83,573	32	△ 17
対 前 年 比	693	715	385	330	71	98
名 古 屋 市	1,044,276	2,275,428	1,120,771	1,154,657	576	257
愛 知 県 (H26. 6. 1)	3,020,877	7,439,876	3,716,873	3,723,003	3,030	2,539

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	116	96	20	873	812	61

【参考】

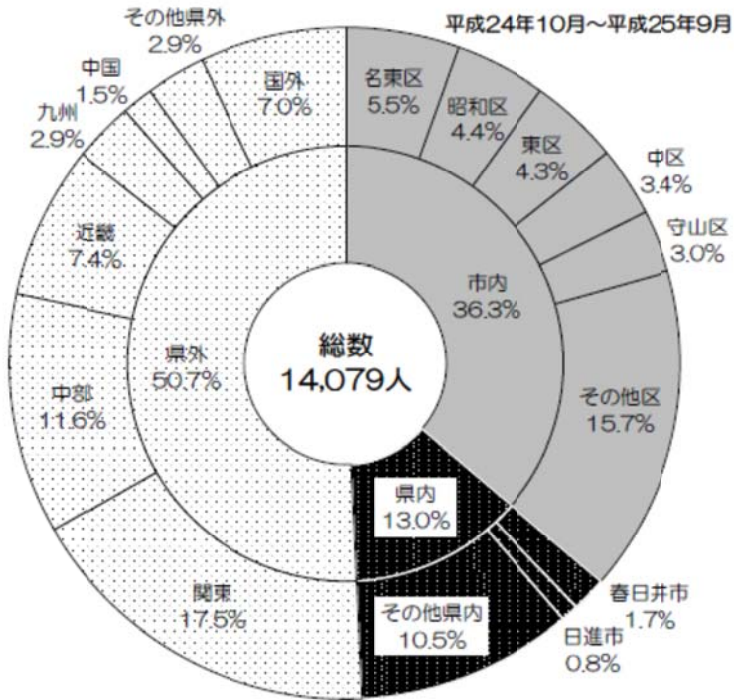
国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和50年	168,861	平成 7年	148,847	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537		
昭和60年	163,762	平成17年	153,132	これまでの最少人口	
平成 2年	156,478	平成22年	160,015	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成22年国勢調査結果を基礎として、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものです。(平成24年7月中の集計までは、毎月の外国人登録の異動数も加減して推計しています)

千種区の地域別転入・転出者数の状況

平成26年7月1日現在の千種区の人口は163,459人となっており、世帯数は82,565世帯となっています。今回は千種区の転入・転出者数の状況を、名古屋市内、愛知県内および愛知県外に分けて見ていきます。

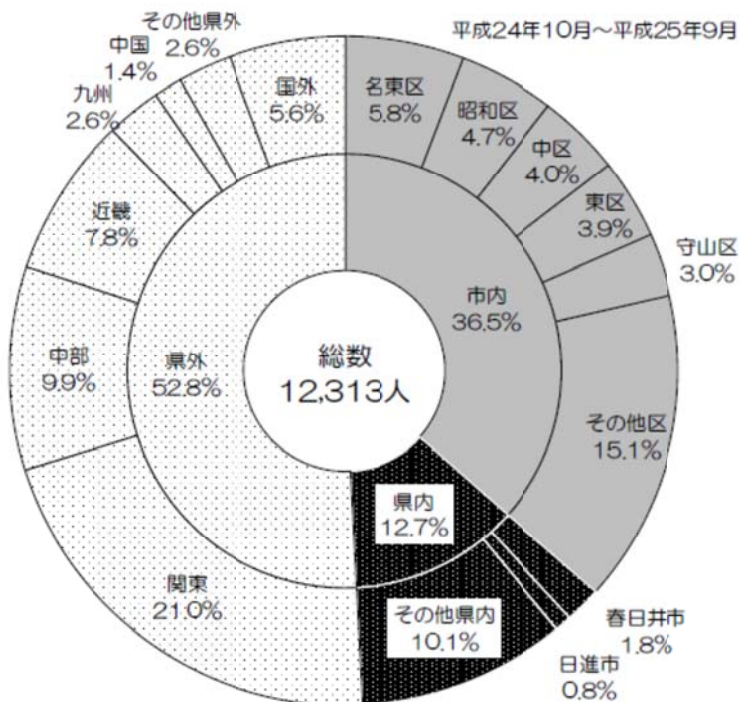
図1: 千種区の地域別転入者数の割合(%)



※1 中部地方は愛知県を除く。県内は名古屋市を除く。
 ※2 比率は小数点以下第2位で四捨五入した。

平成24年10月から平成25年9月までの千種区の転入者は、市内間の異動を含めると、14,079人でした。転入元を地域別に見ると(図1)、愛知県外からの転入者は50.7%と全体のおよそ半分を占めています。内訳は関東地方が17.5%と最も高く、中部地方11.6%、近畿地方7.4%、九州地方2.9%、中国地方1.5%と続きます。愛知県内からの転入者は13.0%と全体の1割強を占めており、春日井市が1.7%と最も高く、日進市が0.8%と続きます。名古屋市内の転入者は36.3%と全体の3割強を占めており、名東区が5.5%と最も高く、昭和区4.4%、東区4.3%、中区3.4%、守山区3.0%と続きます。また、国外からの転入者数は全体の7.0%となっており、近畿地方からの転入者数(7.4%)に匹敵しています。

図2: 千種区の地域別転出者数の割合(%)



※1 中部地方は愛知県を除く。県内は名古屋市を除く。
 ※2 比率は小数点以下第2位で四捨五入した。

平成24年10月から平成25年9月までの千種区の転出者は、市内間の異動を含めると、12,313人でした。転出先を地域別に見ると(図2)、愛知県外への転出者は52.8%と全体のおよそ半分を占めています。内訳は関東地方が21.0%と最も高く、中部地方9.9%、近畿地方7.8%、九州地方2.6%、中国地方1.4%と続きます。愛知県内への転出者は12.7%で、春日井市が1.8%と最も高く、日進市が0.8%と続きます。名古屋市内の転出者は全体の36.5%を占めており、名東区が5.8%と最も高く、昭和区4.7%、中区4.0%、東区3.9%、守山区3.0%と続きます。また、国外への転出者数は全体の5.6%となっています。